

# 社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）札幌林業土木協会

活動内容	ポロトの森キャンプ場周辺の環境整備を実施
1 実施年月日	： 令和3年10月22日（金）
2 実施場所	： 北海道白老町 白老国有林
	胆振東部森林管理署管内 ポロト自然休養林
3 参加会員数	： 胆振東部森林管理署3人
	会員企業21社28人及び事務局1人 延べ32人
4 活動内容	胆振東部森林管理署は、苫小牧市周辺の63千haの国有林を管理経営しています。
	中でもポロト湖周辺のポロト自然休養林は（396ha）は、昨年、アイヌ文化発信拠点として開設された「民族共生象徴空間（ウポポイ）」に隣接しています。
	ウポポイには、国立アイヌ民族博物館などの複数の施設があり、アイヌの歴史文化に触れることができることから、多くの観光客に利用されています。
	ポロトの森キャンプ場は、自然休養林内にありますが、キャンプ場に至る散策路に設置されている木柵の老朽化が進んでいました。
	そこで、胆振東部森林管理署と当協会が相談し、昨年に引き続き、ボランティアで木柵を建て替えることとしました。
	この活動には、札幌協会から21企業28人が参加するとともに、森林管理署からも中塚署長はじめ3名が参加しました。
	当日は、天候にも恵まれたこともあり、90本の古い木柵を撤去して、新しい木柵を設置する作業を予定どおり終了することができました。
	キャンプ場利用者からは、キャンプ場の関連施設整備に関する要望があることから、地域のニーズに応じた社会貢献活動を引き続き行う予定としています。
活動写真	
	
挨拶する中島功治ボランティア委員長	ご挨拶する中塚智之森林管理署長
	
当日実施した木柵の設置作業	